

1 開会日時

平成 28 年 1 月 18 日（月）午後 2 時 03 分

2 閉会日時

平成 28 年 1 月 18 日（月）午後 2 時 40 分

3 会議開催の場所

柳川庁舎 2 階 大会議室

4 出席委員

- (1) 佐藤 秀 樹
- (2) 佐藤 克 則
- (3) 石澤 千鶴子
- (4) 斎藤 誠 子
- (5) 池田 享 誉
- (6) 月永 良 彦

5 事務局出席職員

- |                  |         |
|------------------|---------|
| (1) 教育部長         | 成 田 聖 明 |
| (2) 理事教育次長事務取扱   | 横 山 克 広 |
| (3) 教育次長         | 工 藤 裕 司 |
| (4) 浪岡教育事務所長     | 平 田 公 成 |
| (5) 総務課長         | 八木澤 透   |
| (6) 社会教育課長       | 杉 山 潔   |
| (7) 文化スポーツ振興課長   | 木 村 久美子 |
| (8) 中央市民センター館長   | 木 浪 経 彦 |
| (9) 文化財課長        | 白 取 慎 也 |
| (10) 市民図書館長      | 渡 邊 薫   |
| (11) 学務課長        | 高 橋 光 夫 |
| (12) 学校給食課長      | 工 藤 健 志 |
| (13) 指導課長        | 石 岡 篤 実 |
| (14) 浪岡教育事務所教育課長 | 山 内 秀 範 |

6 会議に付議された案件

- (1) 報告
  - ①小・中学校への寄附採納について
  - ②平成 27 年度青森市成人式について
  - ③第 28 回棟方志功賞版画展等の開催について
  - ④第 11 回全国高等学校カーリング選手権大会の開催について
  - ⑤平成 27 年度青森市文化賞・スポーツ賞受賞者について
  - ⑥学校給食費について
  - ⑦平成 27 年度青森県学習状況調査について

⑧平成 27 年度浪岡中学校生徒海外派遣事業について

7 会議録署名委員

- (1) 斎 藤 誠 子
- (2) 月 永 良 彦

8 会議の概要

午後 2 時 3 分に委員長が開会を宣言する。会期を一日とし、会議録署名委員を前項 7 のとおり指名する。

8 件の事案を報告し、閉会した。

9 会議の状況

(1) 報告

○佐藤委員長

それでは報告事項に入ります。今回の報告事項は 8 件となっております。  
まず、報告 1「寄附採納について」事務局から説明をお願いします。

○総務課長

寄附採納について、御報告申し上げます。

お手元の「寄附採納一覧（平成 27 年 12 月 11 日～平成 28 年 1 月 10 日）」を御覧ください。

No.1 ですが、篠田小学校が「篠田小学校教育振興会」から図書室に常備し、図書の充実  
に役立ててほしいとの趣旨で『児童用図書』の寄贈申し出があり受領しました。

No.2 ですが、三内中学校が「三内中学校 P T A」から卒業記念として各種行事及び教育  
活動に役立ててほしいとの趣旨で、『ジェットヒーター』の寄贈申し出があり受領しまし  
た。

このたびの御厚意に対しまして、心から感謝いたしますとともに、有効に活用させてい  
ただくこととしております。

○佐藤委員長

ただ今の報告について、御意見、御質問等はございますでしょうか。

○月永教育長

いつものことですが、今回も感謝申し上げます。PTA 関係や卒業記念関係ということで  
大変感謝いたします。

特に篠田小学校は、図書の寄贈ということで、本市が進めている読書活動で心を豊かに  
しようとしているところですので、非常にありがたく思います。

また、これから体育館では卒業式や様々な行事があるわけですが、三内中学校へはジェ  
ットヒーターという高額な寄贈があり大変感謝いたします。

本当にありがとうございました。

○佐藤委員長

ありがとうございます。他に御質問はございませんか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、報告の 2「平成 27 年度青森市成人式について」説明をお願いします。

○社会教育課長

平成 27 年度青森市成人式について、御報告いたします。

お手元に配付しております資料を御覧ください。

今月 10 日（日）に開催いたしました平成 27 年度青森市成人式は、青森・浪岡地区の  
両会場におきまして新成人 2, 139 人（青森地区 2, 002 人、浪岡地区 137 人）が

出席し、佐藤委員長をはじめ、委員各位の御出席のもと、華やかなうちに終了いたしました。

式典では、今年度のテーマである「サイハッケン」にちなんで、青森市の魅力を再発見していただく、観光名所等のスライド上映とねぶた囃子演奏のあと、入場の曲に合わせた新成人の手拍子の中、市長に先導されました新成人代表が入場して幕を開け、市長の「はたちに贈る言葉」のあと、新成人代表の「誓いの言葉」、そして議長から「励ましの言葉」をいただき、新成人が大人としての自覚と決意を新たにしたところであります。

資料の2ページを御覧ください。

アトラクションでは、青森会場におきましては、青森市観光大使の古坂大魔王さんによる「はたちへのメッセージ」と題したトークショーやクイズ大会を、また、浪岡会場におきましては、新成人の中学校時代の恩師が参加するバンドのジャズ演奏や抽選会等を行いました。

このクイズ大会や抽選会では、市内企業等から御提供いただいた、たくさんの景品を賞品として活用させていただき、大いに盛り上がりました。

また、友人との語らいの場である「再会の広場」として、両会場で中学校時代の恩師からのメッセージや20年間の出来事を掲げたパネルを展示したほか、友人と一緒に晴れ姿の写真が撮影できる「はたちの記念撮影スポット」を設置し、趣向を凝らして新成人の新たな門出をお祝いいたしました。

今年度も、新成人を中心とする実行委員会が中心となって、様々な新たな企画を取り入れながら開催いたしました。出席いたしました新成人にとって20年目の記念日として、深く心に残る貴重な一日になったのではないかと考えております。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の事務局の説明に御意見、御質問等はございますか。

○月永教育長

今年も、前日までどういった成人式になるのかを楽しみにしておりました。両会場とも成人達がいい顔をしており、成人式スタッフの演出や計画も年々すばらしいものになっていると感じます。

特に、青森会場では「古坂大魔王」さんの出演、浪岡会場ではリアルな恩師である先生のバンドの演奏ということで、成人にとっても意義深いものであったのではないかと思います。

また、当日少し雪が降ったりしましたがけれども、新成人の心は晴れやかであったのではないかと思います。

私自身もうれしく思っていました。

○石澤委員

両会場とも新成人の方々は良い姿勢でいて、とても感動した成人式でした。

ただ、浪岡会場である浪岡中央公民館のステージの照明が気になりました。

せっかくの来賓あいさつや恩師の演奏やアトラクションの演出であっても、照明が気になってしまいましたので、この部分についてはどう対処できますか。

○杉山課長

今年度の浪岡会場につきましては、昨年度に引き続いて浪岡中央公民館で開催いたしました。中央公民館の良い所と悪い所が見えて参りましたので、今回の委員の意見を踏まえまして、来年度は中央公民館ありきではなく、再度考えてみたいと思います。

○石澤委員

よろしく申し上げます。

○佐藤委員長

他に御意見、御質問等はございますか。

○月永教育長

石澤委員に付け加えますが、照明だけではなくて音響もあまり良くないのです。また、パイプ椅子に座って頂いていますが、どうしてもリンクステーションや中世の館のような階段式の座席の方が成人を大事にしているという印象を受けます。印象としては体育館で実施しているような感じですので、少しかわいそうだなという気がしていました。ただ、控室などの設備は中世の館は少ないので、そこが悩みの種なのですが、来年また改めて考えて実施してみます。

○佐藤委員長

よろしくをお願いします。

それでは、報告の3に移ります。

「第28回棟方志功賞版画展等の開催について」事務局から説明をお願いします。

○文化スポーツ振興課長

第28回棟方志功賞版画展について、御報告申し上げます。

棟方志功賞版画展は、昭和63年度より、青森市が生んだ世界的板画(はんが)家 棟方志功画伯の偉業をたたえ、版画芸術の振興と青少年の創造性の向上を図ることを目的として、開催してきたものであり、今回で28回目となります。

市内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に、作品の応募を呼びかけた結果、応募状況につきましては、資料1のとおり、小学校45校、中学校7校、高等学校1校、特別支援学校3校の計56校より、4,841点の応募をいただきました。

応募いただいた作品は、(1月7日に、)日本(にっぽん)板画院(はんがいん)委員・青森支部長の鈴木(すずき)廣(ひろし) 審査委員長ほか、5名の審査員の皆様により慎重に審査をいただき、その結果、受賞作品につきましては、棟方志功賞3点のほか、金賞40点、銀賞60点、銅賞90点、入選361点の計554点の作品が選ばれました。

受賞作品につきましては、2月6日(土)から2月8日(月)までの3日間、青森市民美術展示館において展示し、2月6日(土)には、棟方志功賞受賞者を始め、各賞受賞者の表彰式を行うこととしております。

版画展会場においては、作品交流を通じて国際交流を行っているチェコ共和国「プラハ第7区基礎芸術学校」の生徒作品約30点のほか、「版画の街・あおもり実行委員会」が開催した高校生を対象とした版画技法講座である「版画ワークショップ」において、高校生が作成した版画作品約63点も展示する予定となっております。

また、今年度も実行委員会と連携し、棟方志功賞版画展へ御応募いただいた作品などを、「街中(まちじゅう)が版画ギャラリー」と題して2月1日(月)から3月31日(木)までの期間、趣旨に御賛同いただいた中心商店街各店舗とアウガ、市民センター等の74箇所に約1,300点を飾らせていただくこととなりました。

なお、資料2のとおり、最高賞である棟方志功賞には、「沖館小学校2年 秋元 ののかさん」、「西田沢小学校4年 蝦名(えびな) 凜汰(りんた)朗(ろう)さん」、「横内小学校5年 八木橋(やぎはし) 優人(ゆうと)さん」の作品3点が選ばれました。

「街中が版画ギャラリー」の詳細については、資料3のとおりでございます

委員の皆様におかれましては、展示館及び中心商店街各店舗等へ足をお運びいただき、児童・生徒が制作した版画作品の数々を御覧くださいませよう、お願い申し上げます。以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の事務局の説明に御意見、御質問等はございますでしょうか。

○月永教育長

御承知のとおり、版画の街あおもりを進めている我が青森市では、特に何十年も昔から版画教室は行われていたそうです。また、1年生から6年生まで全学年が版画に取り組んでいる街というのは青森市だけです。その作品も非常にレベルの高いものが多く、全国の版画展の作品と比較しても青森市の層の厚さに感心します。実際に製作している本人たち

は気付かないのですが、他の地域へ行くとよくわかります。その中でも、棟方志功賞に選ばれるということは非常に荣誉であり、また、作品のレベルを上げるためにも参考となる作品となるのではないかと思います。

これまで携わってきた方はたくさんいるわけですが、教育の中で青森に版画を根付かせるということを実施してきた、こういったことが版画の街になっているのではないかと思います。また、斎藤委員の恩師である「柿崎 実先生」もこれに力を入れており、審査員もやって頂いた方ですので、こういった人達の活動が今実を結んできているので、是非これは続けていきたいと思ひますし、作品としてのレベルも高いものであるもので、皆さん是非御覧頂きたいと思ひます。

○佐藤委員長

他に御意見、御質問はございますか。

○斎藤委員

このチラシはもう出来上がったものでしょうか。最初の1ヶ月の展示が受賞出来なかった作品で、その後が受賞した作品でしょうか。

○文化スポーツ振興課長

アートパネルに関しては3/1から受賞作品だけを展示することにしております。

○斎藤委員

このチラシだけではよくわからないかと思ひます。これに関わっている方はわかるかもしれませんが、アートパネル29ヶ所のみでの展示と書いてあっても、普通の方はアートパネルというものがわからないかと思ひます。

○文化スポーツ振興課長

わかりました。

もう少し詳しい記載を付け加えるようにします。

○佐藤委員長

他に御意見、御質問はございますか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、報告の4「第11回全国高等学校カーリング選手権大会の開催について」これについても報告をお願いします。

○文化スポーツ振興課長

第11回全国高等学校カーリング選手権大会の開催について、御報告申し上げます。

お手元にお配りした配付資料を御覧ください。

来月2月18日(木)から21日(日)までの4日間、みちぎんどリームスタジアム(青森市スポーツ会館)において、第11回全国高等学校カーリング選手権大会を開催いたします。

本大会は、平成17年度より本市で開催しており、全国各ブロックから集結した高校生カーリングチームが、高校カーリング日本一を目指し、熱戦を繰り広げるとともに、講習会並びに選手間の交流やトレーニングを目的とした合宿を併せて実施することにより、日本ジュニア層のさらなる強化、競技人口の普及、青少年の健全育成を図ることとしております。

資料として、今大会ポスターデザイン予定の縮小版を配付させていただいておりますので、御参照ください。

昨年度開催いたしました第10回大会では、女子の部では青森選抜が優勝、男子の部では青森選抜が準優勝するなど、地元高校生の活躍によって会場を大いに沸かせたところでもありますので、委員の皆様におかれましては、是非とも会場にお越しいただき、高校生カーラーの熱い戦いに御声援をお送りいただきますとともに、大会のPRにもお力添えを

賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の事務局の説明に御意見、御質問等はございますでしょうか。

○佐藤委員長

今回は東北ブロックからの男子はいないということでよろしいですか。また、青森の選抜というのも無しということでよろしいでしょうか。

○文化スポーツ振興課長

そうです。青森の選抜チームは東北ブロックからではなく、開催地ブロックからの出場となります。

○佐藤委員長

それでは、報告の5「平成27年度青森市文化賞・スポーツ賞受賞者について」これについても報告をお願いします。

○文化スポーツ振興課長

平成27年度青森市文化賞・スポーツ賞の受賞者について、御報告申し上げます。

お手元にお配りしております配付資料1を御覧ください。

青森市文化賞・スポーツ賞は、各種大会・コンクール、スポーツ大会等において特に優れた評価や優秀な成績を収めた個人又は団体及びその指導者に対し、その功績を称えることにより、文化・スポーツ活動の更なる推進を図ることを目的としており、表彰の種類は記載のとおりであります。

今年度につきましては、一昨年の11月1日から昨年の10月31日までに開催された大会、コンクール等において入賞された方を対象とし、庁内のほか、市内小・中学校、高等学校、大学、また文化・スポーツ団体から御推薦をいただき、受賞者を決定しております。

受賞者数については、文化部門では、国際規模の大会・コンクール等において優れた評価を受けた方に授与する文化賞の対象者はございませんでしたが、全国規模の大会・コンクール等において入賞の評価を受けた方及び東北規模の大会・コンクール等で最高賞相当の評価を受けた方に授与する「文化奨励賞」が18名1団体、全国規模の大会・コンクール等において最高賞相当の評価を受けた方の指導者に授与する「文化指導者賞」が2名となっております。

また、スポーツ部門については、国際規模の大会において優秀な成績を収めた方に授与する「スポーツ賞」が6名、全国規模の大会において第3位以上の成績を収めた方及び東北規模の大会において優勝の成績を収めた方に授与する「スポーツ奨励賞」が90名24団体、国際規模の大会において優秀な成績を収めた方及び全国規模の大会において優勝の成績を収めた方の指導者に授与する「スポーツ指導者賞」が3名となっており、文化賞合計21件、スポーツ賞合計123件、計144件（昨年度150件）について表彰することといたしました。

受賞者名並びに受賞の対象となった功績につきましては、配付資料2の「平成27年度青森市文化賞受賞者名簿」及び配付資料3の「平成27年度青森市スポーツ賞受賞者名簿」を御参照くださるようお願いいたします。

表彰式につきましては、1月27日（水）午前10時より、ホテル青森において開催することとしております。

なお、委員の皆様には表彰式の御案内をさせていただきましたので、是非御出席くださるよう、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の事務局の説明に御意見、御質問等はございますでしょうか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、報告の6「学校給食費について」これについても事務局から報告をお願いします。

○学校給食課長

学校給食費の改定につきましては、平成27年第11回定例会において御報告のとおり、石澤委員をはじめ、市PTA連合会などに参加いただき、「青森市学校給食運営懇談会」において意見を伺いながら検討を行っており、これまで2回開催いたしましたことから、本日は、その経過について、まとめて御報告申し上げます。

最初に配付資料1「第1回青森市学校給食運営懇談会概要」を御覧ください。

昨年11月19日に第1回懇談会を開催し、学校給食費の現状として、学校給食費の内訳の推移や、消費者物価の推移データを用いて説明し、課題として、物価上昇により低下した副食費の調達力を、適切・速やかに回復することが必要であることなどを、挙げたところであります。

詳しい説明は割愛いたしますが、当日の説明資料を、「配付資料2」としてお手元に配付しておりますので、後ほど御覧いただきますようお願いいたします。

第1回懇談会での主な意見についてですが、

○「学校給食の質」については、「充実した献立内容と、安全安心が第一に求められる」との意見や、

○「学校給食費の改定」については、「学校給食費が厳しい状況にあることがわかり、改定はやむを得ないのではないかと」

などの意見が出されたところあります。

次に、配付資料3「第2回青森市学校給食運営懇談会概要」を御覧ください。

昨年12月17日には、第2回懇談会を開催いたしました。

第2回懇談会では、1回目の会議における「値上げ額を提示してほしい」などの意見を踏まえ、事務局から、学校給食費検討の考え方や、具体的な試算結果について説明し、意見を伺ったところあります。

こちら、当日の説明資料につきましては、「配付資料4」としてお手元に配付しておりますので、後ほど御覧いただきますようお願いいたします。

ポイントといたしましては、

○多様な食品を活用し、栄養バランスがとれたおいしい学校給食づくりに取り組むこと。また、食の安全・安心を最優先に考え、原則として国内産、国内製造の食材を使用すること。

○物価上昇を適切に反映し、低下した物資調達力を回復させること。

などを基本として、中学校給食スタート後（合併時）の10年前（平成17年度）を基準に物価変動を考慮した場合には、1食当たり30円程度、消費税改定前の3年前（平成24年度）を基準に物価変動を考慮した場合には、1食当たり20円程度の改定が必要と試算したところあります。

第2回懇談会での主な意見につきましては、

○「この値上げ幅であれば、なんとか払えると感じた」との意見や、

○「30円値上げして260円になったとしても、他都市に比べれば高い方ではない」との意見、

○「物価の上昇などの事情を丁寧に説明することによって、保護者も理解してくれると思

う」

などの意見が出されたところでもあります。

また、学校給食費の改定に当たりましては、保護者の皆様の御理解を得ることが大切であると考えておりますことから、配付資料4の最後のページに添付しておりますが、昨年12月には、各小・中学校を通じて「給食だより臨時増刊」を配付し、学校給食費の現状について、全ての保護者へお知らせしたところでもあります。

このほか、去る1月12日には、市PTA連合会の各小・中学校のPTA代表の皆様と意見交換会を開催したところであり、出席の方々からは、学校給食費の改定に対し、概ね御理解をいただいたところでございます。

事務局といたしましては、学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と発達に大切な役割を果たすものであり、食材の価格の上昇に適切に対応することが必要であると考えておりますことから、来る1月25日には、第3回懇談会を開催し、その御意見を踏まえて具体的な改定案を取りまとめし、来年度からの実施に向けて、改めて教育委員の皆様にご審議いただく予定としております。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の事務局の説明に御意見、御質問等はございますでしょうか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、報告の7「平成27年度青森県学習状況調査について」これについて報告をお願いします。

○指導課長

平成27年度青森県学習状況調査について、御報告いたします。

本調査は、青森県教育委員会が、県内の小学5年生及び中学2年生を対象に平成15年度から毎年度実施しているものであり、小学校は、国語、社会、算数、理科の4教科、中学校は、国語、社会、数学、理科、英語の5教科を調査しております。

今年度は、平成27年8月26日に実施し、調査結果が去る12月15日に発表されたことから、本市小・中学生の学習状況及び学力向上に向けた今後の取組について御報告します。

配付資料を御覧ください。まず、本市の小・中学生の学習状況について、県通過率と比較した結果を御報告します。

小学校では、国語が0.4ポイント、社会が0.5ポイント、算数が2.3ポイントそれぞれ上回り、理科が同じとなっております。4教科総合では、0.8ポイント上回っております。

中学校では、国語が1.4ポイント、社会が2.8ポイント、数学が4.9ポイント、理科が4.9ポイント、英語が3.8ポイントそれぞれ上回り、5教科総合では、3.5ポイント上回っております。

次に、2ページを御覧ください。県内他の市・郡と比較したものとなっておりますが、資料の「総合」の表にありますように、県内全ての16の市・郡のうち小学校が3位、中学校が2位となっており、昨年度と比べると、小学校は5つ順位を上げ、中学校も1つ順位を上げております。

なお、各教科の順位は、資料のとおりとなっております。

次に、3ページを御覧ください。本市小・中学生の学習上の課題と学力向上に向けた今後の取組について御説明します。

小・中学生とも、知識・技能は定着しているものの、それらを活用する力、いわゆる思



考力、判断力、表現力に課題があります。

そのため、資料にありますとおり、1月12日に「学力向上推進会議」を開催し、授業改善に向けた具体策を検討しました。

そして、検討した結果を踏まえ、1月18日から28日までの期間、各教科の「確かな学力対策講座」において、指導主事が授業改善についての講義・演習を行い、その後、各校の参加者が当講座で得た内容を持ち帰り、校内研修会等で共有し、日々の授業に生かすこととしております。

また、4月以降も、教育委員会主催の各研修講座において、学力向上のためのモデル授業を通し、教員の指導力向上を図って参ります。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の事務局の説明に御意見、御質問等がございますでしょうか。

○月永教育長

2ページを見ますと、総合順位では小学校で5位、中学校で1位上がったという結果ですけれども、私どもは順位の上下は問題にしておりません。それよりも、これもひとつのテストであって、全国学力学習状況調査や各学校ごとのCRTテストや中学校であれば高校入試の結果などを全て分析しながら、本市の子どもたちがどういった点が得意なのか、また、どういった点を不得手としているのかを次年度の学習の状況に活かしていくために分析しております。その結果を踏まえて、私自身は青森市の子ども達のレベルは非常に高いものであると思っております、特に全国学力学習状況調査は非常に良い結果が出ていて、かなりレベルの高い所におりますので、そういう意味では安心しております。但し、全員がそういった状況ではなく、なかなか理解できない子ども達にどうやって理解させるか、点数の良い子をどうやってさらに伸ばしていくかという両面でもって、学校訪問や指導・研修等で指導助言して参りたいと思っております。青森の子ども達は非常に頑張っているということが、私の長年の経験からの見解でございます。

○佐藤委員長

他に御意見、御質問等がございますでしょうか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、報告の8「平成27年度浪岡中学校生徒海外派遣事業について」これについても報告をお願いします。

○浪岡教育事務所教育課長

平成27年度浪岡中学校生徒海外派遣事業が無事、終了いたしましたので、御報告いたします。

前回の定例会で報告いたしましたとおり、浪岡中学校生徒、引率者、計13名が、1月4日に8泊9日の日程で訪問先のアメリカ合衆国メイン州へ向け、青森空港を出発いたしました。

メイン州滞在中は、現地の家庭でのホームステイを中心とし、グリーリー中学校との交流会のほか、授業への参加や、日本文化紹介等の活動を通じ、姉妹校である浪岡中学校とグリーリー中学校の生徒間の友情を更に深めることができました。

実施状況については、資料2の写真のとおりであります。

交流事業につきましては順調に実施されましたが、アメリカからの帰国予定の1月11日、悪天候により国内線が大幅に遅延し、国際線への乗継ができないことが判明したため、資料1の太枠で囲んでありますとおり、さらに2日間アメリカ国内に滞在することとなり、10泊11日に日程を変更いたしましたので、1月14日夜に全員無事、元気に帰って参りました。

交流事業の成果につきましては、浪岡中学校の在校生に対し報告会を開催するとともに、生徒の感想などをまとめた報告書を作成し、市内の全小中学校に配付することとしております。

以上でございます。

○佐藤委員長

始業式には何とか間に合ったということですね。

○浪岡教育事務所教育課長

そうです。

○佐藤委員長

ただ今の事務局の説明に御意見、御質問等がございますでしょうか。

○斎藤委員

出発前に意見を申し上げればよかったのですが、今後も長く続く事業かと思いますので御検討頂きたいことがあります。

海外に派遣する場合、10日ほどの日数があるかと思いますが、派遣中に誰か病人が出た場合は緊急連絡して現地の方々が色々に対応してくれることと思いますが、例えば、現地からの出発の前日や当日に感染症等になった場合、その子の帰国を遅らせるのかどうするのかといった対応のマニュアルを作成しておけば、そういった事態があった際にすぐ対処が出来るかと思いますので、是非御検討頂きたいと思います。

○浪岡教育事務所教育課長

貴重な御意見ありがとうございます。今後検討させていただきます。

○月永教育長

これは、メイン州だけの話ではなくて、大連市や平澤市の訪問も同じかと思えます。今の斎藤委員の御意見については、特に考え付かなかった部分かと思えますが、言われてみると確かに納得できます。今までは特に重度の病人が出ることなく何とか実施してこれでしたが、万が一こういった事態になった場合を考えると、現地においてどのように子どもを守っていけるかということを考えて場合、危機管理が叫ばれている中ですので、マニュアル等が必要なのではないかと改めて感じました。

○佐藤委員長

本当に貴重な御意見ありがとうございました。

○佐藤委員長

他に御意見、御質問等がございますか。

～ なし ～

(2) その他

○佐藤委員長

その他、本日の案件以外に、委員の皆様の方から何かございませんか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、事務局の方から何かございませんか。

～ なし ～

それでは、本日予定しておりました報告が全て終了いたしました。  
以上を持ちまして、平成28年第1回青森市教育委員会定例会を終了といたします。  
ありがとうございました。

平成 28 年 1 月 18 日開催の平成 28 年第 1 回青森市教育委員会定例会の会議録を作成した。

平成 28 年 2 月 4 日

書記 藤 田 剛

上記のとおり相違ないことを認め署名する。

平成 28 年 2 月 4 日

署名委員 斎 藤 誠 子

署名委員 月 永 良 彦